

知る人ぞ知る小規模塾 ユニークな授業の魅力

認知度は低いが東大などの難関大学に数多くの合格者を出す小さな塾がある

東大

京大をはじめとした難関大学入合格に向け、東大対策コースを設置したり、東大専門をうたう塾は多いが、こうした有名塾に通うことだけが合格の近道ではない。

全国的には低い知名度ながら、毎年多くの生徒を東大へ送り出す、知る人ぞ知る塾が都内にはいくつが存在する。開成、麻布、桜蔭、雙葉といった中高一貫校の生徒が多数通うこれらの塾は、ほとんどが特定の科目だけを教える小規模運営だ。もっとも、生徒の大多数を保護者間の口コミだけで集めるため、情報が表に出てくることは少ない。これらの塾では、いったいどのような教育が行われているのか。

座卓で学ぶ英語教材は古典的名文

じゅうたん敷きの上に大きめの座

卓が並ぶ教室。生徒たちは靴を脱いで、あぐらや正座などさまざまな姿勢で机に向かい、講義に耳を傾ける。現代の寺子屋というべきユニークなスタイルで授業をしているのは東京・渋谷の「アイ・イー・プレップスクール平岡」。開塾45年の名門英語塾だ。

「座卓での授業は先代のときからの伝統。大手塾にはない、牧歌的な雰囲気を感じてうちの塾に通う生徒は多い」と、代表の大町慎浩氏は言う。同塾は1965年に先代塾長の平岡芳江氏が開いた塾が前身。英語教育の名門、神戸女学院出身の平岡氏が、当時都内の中高一貫校に通っていた自分の子どもに、自宅で英語を教えたのがきっかけ。その内容が友人たちの間で評判になり、口コミで生徒が集まった。それが今のアットホームなスタイルにつながる。

しかし、その肩の力が抜けた雰囲気とは裏腹に、同塾は毎年数多くの生徒を難関大学に送り出している。東大合格者は実に80%以上。さらにTOEICで970点以上をマーク

アイ・イー・プレップスクール平岡の授業風景。外国人講師による講義を受ける中学1年生



アイ・イー・プレップスクール平岡 (東京・渋谷)

- 在籍者数…1800人(1クラス30~40人)
- 授業…英語のみ。週1回、180~270分(うち40分は外国人講師による指導)
- 1年間の費用(高3)…入塾金2万5000円、年間授業料25万2000円(月2万1000円×12ヵ月、高2以下は月1万6000円)
- 在籍者の主な学校…筑波大附駒場、麻布、桜蔭、女子学院、学芸大附など
- 入塾テスト…なし(高3生はクラス分けテスト)

する生徒もいるというから驚きだ。

秘密は、受験英語の枠を大幅に超えた高レベルな授業内容にあるようだ。使用するテキストはバートランド・ラッセルの論文やジョージ・オーウェルの小説といったイギリスの古典的名著が中心になる。「文章が古いと批判されることもあるが、平岡が目指す「折り目正しい英語」を教えるには古典的名文のほうがいい。文法もしっかりしており、テキ

ストとして優れている」大町氏。

また、毎回3時間〜4時間半の授業のうち40分間は、外国人講師によるリスニングやスピーキングなどの指導を実施。教える方もユニークで、たとえば中学生の授業ではジャズのリズムに合わせてテキストを朗読し、英語独特の抑揚やリズムパターンを覚える。「平岡で教えているのは、「天人」になっても使える英語」。将来、海外で働いたり研究者になっ

たときに英語で論文を書くことを想定して指導している」大町氏。

もちろん高3生に対しては受験対策の講義も行う。だが、あくまで受験は通過点にすぎないという姿勢は崩さない。結果、それが大学受験における高い実績につながっている。

英語を平岡塾で習う生徒は、別の科目を他の塾で習う。よく見られるパターンの一つが、国語を東京・渋谷の専門塾「ASNニルの学校」で学ぶというものだ。こちらは、あくまで「受験科目」としての国語に焦点を絞って授業を展開する。何といつても1〜1年半という短期間で受験合格に必要な国語をマスターできることが売りだ。

「今の国語教育には『問題を解く力の指導が欠けている。数学や英語と同じように、こちらは『解き方』の方法論を徹底的に教える。だから短期間でカリキュラムを終えられる」と代表の松本憲和氏は話す。

受講者の8割が文系の生徒だ。加えて、東大の理系志望者で理系科目に専念するため、早い段階で国語の対策を終わらせたい、という生徒にも人気だ。という。生徒数は200人

弱にもかかわらず、前年度は東大に26人、早慶上智には合計で100人以上の合格者を出した。現代文、古典から小論文までを指導するが、特に古典の指導方法には定評がある。中でも松本氏が長年の指導の中で培った独自の「松本メソッド」は、問題文を読まずに設問だけを見て解答する方法だ。「実は、問題文を読まなくても設問の7割は解ける。通常の指導とは逆の発想で、そういう解き方をするために必要な文法や語彙を教える」と松本氏は説明する。結果、ゼロからのスタートでも、大学入試センター試験で8割以上を取る生徒が続出。満点を取る生徒も出るという。

理数に定評あるSEG 英語でも実践的な試み

一方、理系科目で個性的な指導をする塾も存在する。毎年多くの学生を東大や国立大医学部に送り出す、東京・新宿の「SEG」はその代表格。21年前に数学・理科の理系科目専門の塾としてスタートした。「授業では『基礎』から教えることに重点を置いている」と代表の古川昭夫氏は話す。公式や規則を暗記させるのではなく、その背後にある「理屈」を丁寧に教えるところが他の塾と一線を画す点だ。たとえば中学1年生で教える正負



ASN ニルの学校 (東京・渋谷)

- 在籍者数…200人弱(1クラス10~30人)
- 授業…国語(古典・現代文/小論文)、週1回、120分
- 1年間の費用…入会金2万円、年間授業料33万6000円(2科目受講、各期一括納入の場合)
- 在籍者の主な学校…麻布、開成、雙葉、桜蔭など
- 入塾テスト…あり

古典指導に強みを持つニルの学校。問題の「解き方」の方法論を身に付けさせる指導方法が支持を集める